

危険予測トレーニング(KYT) — 危険感受性を育てる

第42回 夜間、信号機のない交差点を右折する時(四輪車編)

交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を高めるための題材を提供します。今回は四輪車のドライバーに、夜間、信号機のない交差点を右折する時の危険について考えてもらうためのKYTです。



活用方法

- ① 少人数のグループをつくります。
- ② 「交通場面のイラスト」を見せながら、意見を出し合います。
- ③ その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すれば良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト(カラー・A4版)」は下記SJホームページでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード(無料)できます。

ホンダ SJ

検索

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業(株) 安全運転普及本部
TEL: 03 (5412) 1736
E-mail: sj-mail@spirit.honda.co.jp

対向するバイクはまだ遠いと感じたので、あなたは右折を開始しました。右折した先には横断歩道があります。

安全に通過するには、どのようなことを予測する必要がありますか？

© 本田技研工業(株)

指導者ファイル 23

このコーナーでは、地域で活躍する交通安全教育に携わる指導者の方々を紹介していきます。



広島県呉市の呉交通安全協会交通安全教育指導員の皆さん(左から)興梠茂名己さん、益田香奈子さん、知久早苗さん

命を守るための交通安全ルールを1つでも持ち帰ってもらおう

呉市は平成17年に周辺市町村が編入し、人口25万人規模の広島県南西部に位置する臨海都市である。同市の交通安全教育は興梠茂名己さん、益田香奈子さん、知久早苗さん3名の専門指導員と警察署、呉市内の交通安全推進協議会のボランティア指導員が連携しながら行っている。平成25年は幼児を中心に、小・中学生、高齢者延べ313回、約2万7600人を対象に交通安全教室を開催した。

「幼児を対象とした交通安全教室では、1つでもいいので交通安全ルールを理解してもらい、持ち帰ってもらうことを心がけています。『こんなルールがある』で終わりではなく、『こうした危険があるから、このルールを守る必要がある』ということを伝えたい」と、興梠茂名己さんは話す。そのため、教材は子どもたちにきちんと理解してもらえるよう視覚に訴えるものをつくりしている。室内で行う交通安全教室

ではどうしても動きのない平面の教材を使うことになる。そこで2つのクリアファイルを利用し動きを持たせる(写真参照)など工夫を凝らしている。「1つでも持ち帰ってもらおう」。その思いは進め方にも表れている。「私たちが一方的に話すのではなく、質問を投げかけるなど、子どもたちに参加してもらえ工夫をしています。2WAYコミュニケーションを図ることで、子どもたちの記憶に残す指導をめざしたい」と三人は語る。

★幼稚園・保育園での交通安全教室



神経衰弱のように2つの図柄を子どもたちに揃えてもらう。同じ図柄が揃った時点で描かれているイラストの意味やルールを丁寧に説明。Hondaが主催する交通安全指導員研修会に参加した際、他地域が発表した指導内容を参考にしている



★平面の教材で動きを出すための工夫



Hondaの交通安全教育プログラム「あやとりいひよこ編」ではワークシートに切り込みを入れ、そこからクルマが飛び出てくる様子を再現



2つのクリアファイルに貼り付けたイラストをスライドさせて歩行者が動いているように見える

指導者の皆さんの活動を動画でご紹介
<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/area/movie/>

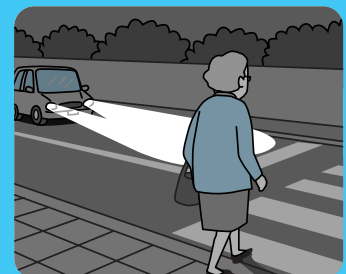
SJクイズ ?

Q1 平成25年の交通事故件数を昼夜別にみた場合、夜間の死亡事故率(交通事故全体に占める死亡事故の割合)は昼間の何倍でしょう?

- ①約1.2倍 ②約1.7倍
③約2.2倍 ④約2.7倍

Q2 夜間の交通事故件数を事故類型別にみた場合、人対車両で最も多い事故類型は次のうちどれでしょう?

- ①対面通行 ②背面通行
③横断中 ④路上停止中



Q3 夜間の交通事故件数を事故類型別にみた場合、車両相互で最も多い事故類型は次のうちどれでしょう?

- ①追突 ②出会い頭衝突
③右折時衝突 ④左折時衝突

※「解答」は8面下。「解説」は下記SJホームページでご覧いただけます。<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>

© 本田技研工業(株)